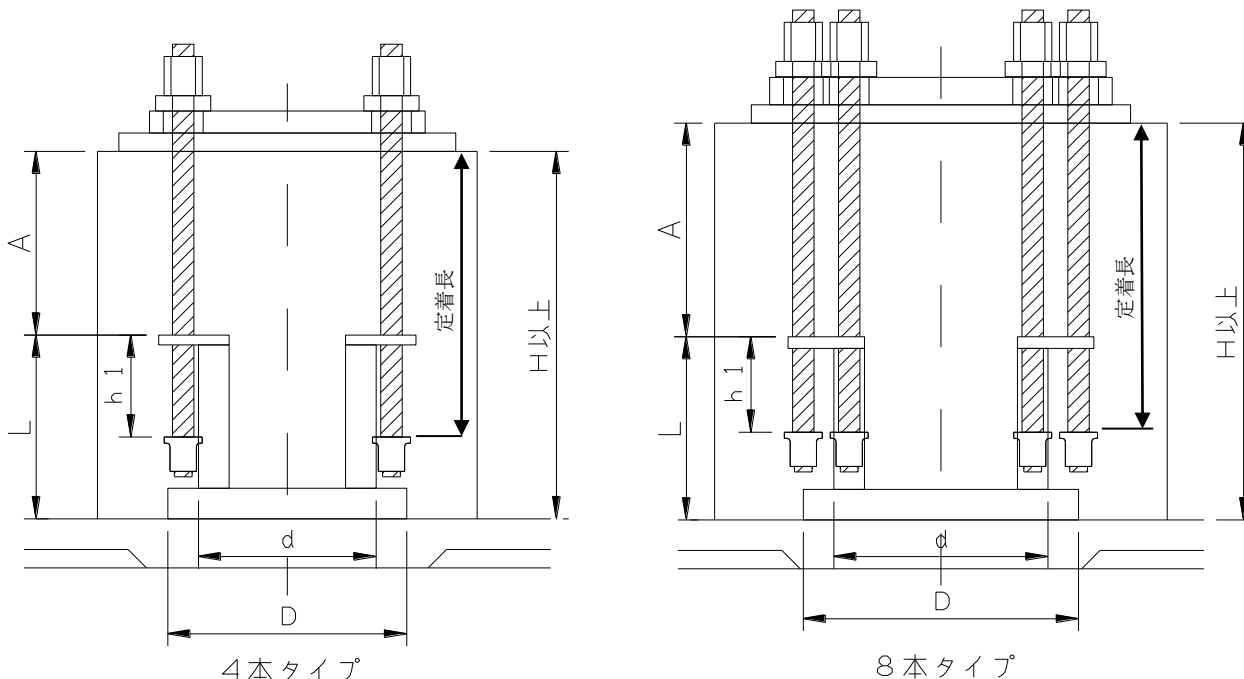


**ジャストベース (JEI 型) フレーム標準寸法について**

ジャストベース (JEI 型) のフレーム標準高さ及び補強フラットバーの標準位置を、以下にご説明します。

① 4, 8本タイプの場合



**h1** : 下記による (機種別 寸法)

J150-09, J175-09, J200-09, J200-12 (角形鋼管)	150mm (標準)
J250-09 ~ J400-19 (角形鋼管) 円形鋼管仕様は全て	200mm (標準)

**A** : 下記による

A = 各機種別の定着長 - 上記 h1 寸法 (定着長はカタログより抜粋)

J B 機種名 (角形鋼管)	定着長	A
J150-09, J175-09, J200-09, J300-09	430mm	280mm (J300-09 のみ 230mm)
J200-12, J250-09, J250-12, J250-16, J300-12, J300-16, J300-19	460mm	260mm (J200-12 のみ 310mm)
J350-12, J400-12	460mm	260mm
J350-16, J350-19, J400-16	510mm	310mm
J350-22, J400-19	580mm	380mm

J B 機種名 (円形鋼管)	定着長	A
J216-13, J267-13, J355-13, J406-13, J457-13	460mm	260mm
J318-13, J406-19, J508-14	510mm	310mm
J457-19	580mm	380mm

※フレーム高さ L について

$L = H - A$  (但し 2 捨 3 入, 7 捨 8 入で 50 ピッチとする)  $H$  はコンクリート基礎高さ

例 :  $L = 430$  なら 3 入で 450、 $L = 420$  なら 2 捨で 400。

$L = 580$  なら 8 入で 600、 $L = 570$  なら 7 捨で 550。

フレーム高さ (L) 計算例 (参考例)

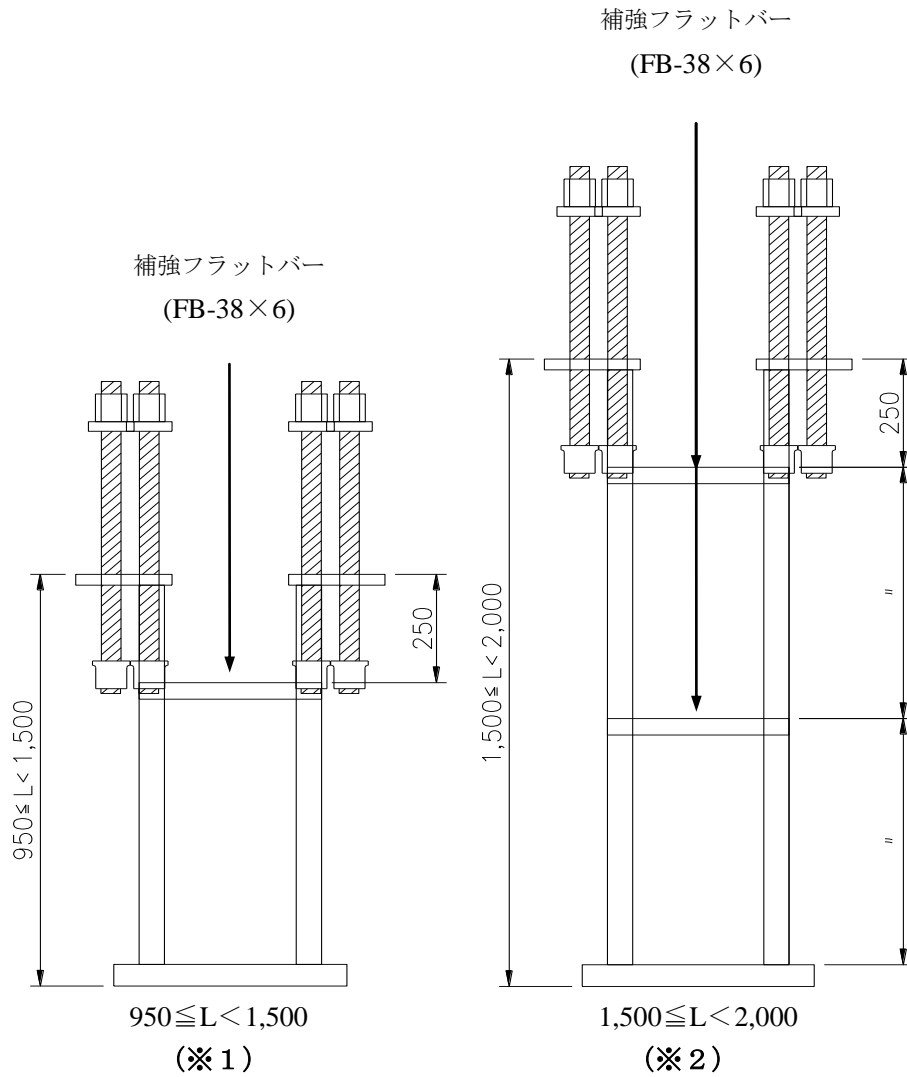
1) 4,8 本タイプの場合 (J300-19 の場合 定着長=460 h1=200) 基礎高さ H=1.200

$L = H$  (基礎高さ) - A (定着長 460 - h1 200=260)

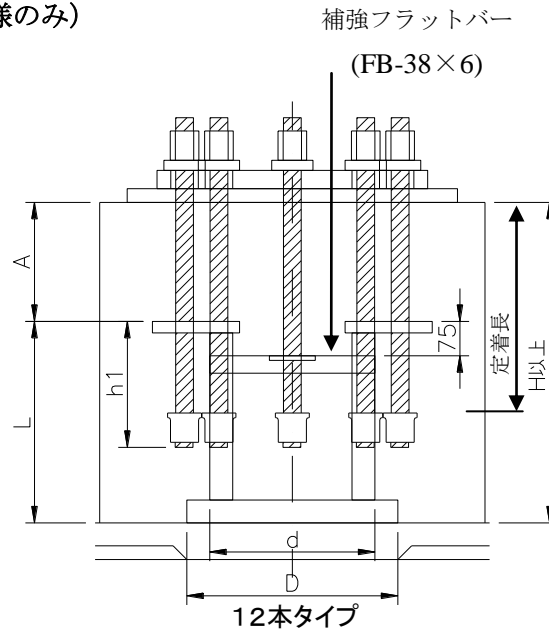
$L = 1.200 - 260 = 940$  上記 計算式 2 捨 3 入によりフレーム高さは 950 となる

※補強フラットバーの位置について

- 1)  $L < 950$  の時、補強フラットバーは付けない。
- 2)  $950 \leq L < 1,500$  の時、補強フラットバーはポスト天端から 250 下がりの位置に 1 ヲ所設ける (※1)。
- 3)  $1,500 \leq L < 2,000$  の時、補強フラットバーはポスト天端から 250 下がりの位置に 1 ヲ所、フレームベースと補強フラットバーの間に 1 ヲ所、計 2 ヲ所設ける (※2)。
- 4) 2,000 以降、高さが 500 増えるごとに補強フラットバーは 1 ヲ所ずつ増える (要相談)



② 12本タイプ（角形鋼管仕様のみ）



**h1** : 下記による (機種別 寸法)

J400-22 ~ J550-22 (角形鋼管)	200mm (標準)
--------------------------	------------

**A** : 下記による

**A** = 各機種別の定着長 - 上記 **h1** 寸法 (定着長はカタログより抜粋)

J B機種名 (角形鋼管)	定着長	<b>A</b>
J400-22, J450-16	510mm	310mm
J450-19, J450-22, J500-19	580mm	380mm
J500-22, J550-19, J550-22	670mm	470mm

※フレーム高さ **L** について

$L = H - A$  (但し 2 捨 3 入, 7 捨 8 入で 50 ピッチとする) **H** はコンクリート基礎高さ

例 :  $L=630$  なら 3 入で 650、 $L=620$  なら 2 捨で 600。

$L=780$  なら 8 入で 800、 $L=770$  なら 7 捨で 750。

フレーム高さ (**L**) 計算例 (参考例)

2) 12本タイプの場合 (J500-22 の場合 定着長=670 h1=200) 基礎高さ  $H=1.500$

$L = H$  (基礎高さ) - **A** (定着長 670 - h1 200 = 470)

$L=1.500 - 470 = 1.030$  上記 計算式 2 捨 3 入でフレーム高さは **1.050** となる

## ※補強フラットバーの位置について

- 1)  $L < 950$  の時、補強フラットバーは上図の位置に 1 ヶ所設ける。
- 2)  $950 \leq L < 2,000$  の時、補強フラットバーはポスト天端から 75mm 下がりの位置に 1 ヶ所、フレームベースと補強フラットバーの間に 1 ヶ所、計 2 箇所設ける (※3)。
- 3)  $2,000 \leq L < 2,500$  の時、補強フラットバーはポスト天端から 75mm 下がりの位置に 1 ヶ所、フレームベースと補強フラットバーの間に均等配分で 2 箇所、計 3 箇所設ける (※4)。  
ただし  $L=2,000$  以上は要相談。

注記：12 本タイプの場合、補強フラットバーは必ず頭部に 1 ヶ所は取り付く。

